

第2次湖南省障がい者の支援に関する基本計画

# みんなでとりくむ つばさプラン

概要版

《改定版》



■この計画は「障がいのある人が地域でいきいきと生活できるための自立支援に関する湖南省条例」を踏まえつつ、「湖南省障がい者計画」「湖南省障がい福祉計画」「湖南省障がい児福祉計画」の3つを合わせて策定した計画です。

平成30年(2018年)3月

湖南省

# 一人ひとりが自分らしく

## 5 つのテーマ

生まれてから大人になるまで、  
一人ひとりの成長を  
応援するまち  
(一人ひとりの発達支援)

自分らしく輝きたい・働きたい  
気持ちに応えるまち  
(余暇活動・就労支援)

必要なサービス  
自分らしく毎  
日を送れる  
まち  
(日常生活支援)

## 4 つの目標

### ①一人ひとりの発達・成長を応援する

障がいのある子どもや発達に支援の必要な子どもが自分の持てる力を十分に発揮し、自分らしく健やかに成長できるよう支援のネットワークを広げます。

#### 施策

- 1：発達支援システムの充実
- 2：支援が必要な子どもの早期発見・対応
- 3：教育・保育の充実
- 4：放課後等児童対策の充実

### ②「輝きたい」「働きたい」意欲に応える

「輝きたい」「働きたい」意欲のある人が、自分にあった社会参加や就労の場を見つけて、その環境で力が発揮でき、生きがいや収入を得られる地域社会を築きます。

#### 施策

- 5：社会参加の促進
- 6：就労の促進

### 求める市民像

- 子どもの発達や健康に関する知識を持って、子どもと子育てを応援します。
- 妊娠・出産・子育てについて専門サポートや子育て仲間を頼れるなど安心できる環境があり、孤立することなく、喜びや楽しさを感じています。
- 地域の子どもが、いろいろな体験を通じて豊かに育つよう、できることで貢献します。

#### 私たちにできること

- ・疾病や発達課題等の早期発見と早期療育のため、妊婦健診・乳幼児健診を受診しましょう。
- ・乳幼児の時から、多くの子どもや親と交流しましょう。
- ・子どもが、遊んだり体験したり、気軽に行事に参加できる地域をつくりましょう。

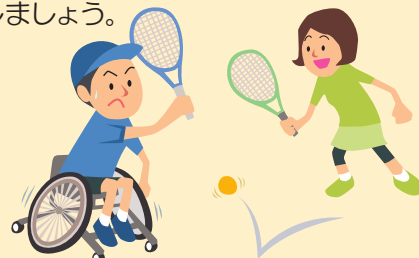


### 求める市民像

- 仲間とともに、趣味や生涯学習、スポーツ、地域行事などに参加します。
- 自分の会社や職場で、個性・特性が活かせる仕事を見つけ、働きづらさがあっても継続できる働き方を一緒に考えていきます。

#### 私たちにできること

- ・障がいのある人が、仲間とともに生涯学習やスポーツなどの活動に親しめるよう、参加しやすくなる、参加しやすい機会をつくりましょう。
- ・職場で、障がいのある人の個性に応じて、わかりやすい説明を心がけたり、環境を整えたり、お互いに働きやすいように配慮しましょう。



# ともに生きるまち 湖南省

サービスを利用して、  
日々の生活が  
支えられるまち  
(生活支援)

住みなれた地域で、  
あたたかい支えあいのもとで  
安心して暮らせるまち  
(共生する地域、生活安心)

たて・よこ・ななめに  
すき間なく、みんなが担う  
しくみがあるまち  
(推進体制)

## ③ 毎日の生活を支える

住まいの場の確保や生活支援サービスの充実、地域のみんなが参加する支援によって、障がいのある人やその家族の、毎日の生活を支えます。

### 施策

- 7：相談と情報提供の充実
- 8：自立支援給付等による日常生活の支援
- 9：経済的負担の軽減
- 10：住まいの確保
- 11：保健・医療の確保

## ④ 共生する地域をつくる

市民や地域に障がいと障がいのある人への理解があり、障がいのある人ない人が自然に交流し、かかわりあい、互いに支えあう地域共生社会をつくっていきます。

### 施策

- 12：人権文化の醸成と権利の擁護
- 13：ふれあい・交流の充実
- 14：コミュニケーション支援の充実
- 15：移動の確保
- 16：災害への備え

## 求める市民像

- 見守る、声をかける、手伝うなど、困っている人を自分なりに支援します。

### 私たちにできること

- ・「何かお困りですか」と、まずは声をかけましょう。
- ・介助が必要な場合は、障がいの有無に関わらず困っている人を助けましょう。



## 求める市民像

- 障がいの特性について理解し、障がいのある人の生活のしづらさについて思いやる心を大切にします。

### 私たちにできること

- ・エレベーターや多機能トイレなどの利用は、必要な人を優先しましょう。
- ・歩道に自転車等を停めない、点字ブロックをふさがらないなどマナーを守りましょう。
- ・合理的配慮※についての知識を持ち、地域活動や行事などでも、多様な情報伝達手段を用いるよう心がけましょう。
- ・いろいろな人とふれあうことを楽しみ、支えあう地域をつくりましょう。
- ・日頃から防災に関する意識を高めましょう。



※合理的配慮：障がいのある人から何らかの助けを求める意思の表明があった場合、過度な負担になりすぎない範囲で、社会的障壁(バリア)を取り除くために必要な配慮を行うこと。

### 3つの原則

基本的な人権を尊重し、  
差別を禁止する

地域共生の  
社会に向かう

みんなで取り組む

### 第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画の成果目標

国の基本指針を踏まえて、以下の5つの重点項目について成果目標を掲げ、それらの着実な推進を図ります。

#### (1) 施設入所者の地域生活への移行

地域での支援体制が十分に整っていない中で、地域生活移行の見込みを立てることは困難な状況です。今後、施設入所者の地域生活への移行を推進していくために、必要な支援体制の整備に向けて、継続的に取り組んでいきます。

#### (2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

項目	内容
保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置	平成32年度末までに1箇所設置（甲賀福祉圏域共同事業）

#### (3) 地域生活支援体制の強化

項目	内容
地域生活支援拠点等の設置	平成32年度末までに1箇所設置（甲賀福祉圏域共同事業）

#### (4) 福祉施設から一般就労への移行等【目標値】

項目	数値
平成32年度の一般就労移行者数	3人
平成32年度の就労移行支援事業所の利用者数	15人
就労移行率3割以上の就労移行支援事業所の割合（平成32年度末までに）	50%
平成31年度の就労定着支援事業による支援開始1年後の職場定着率	80%
平成32年度の就労定着支援事業による支援開始1年後の職場定着率	80%

#### (5) 障がい児支援の提供体制の整備等

項目	内容
主に重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービス事業所	平成31年度末までに1箇所（甲賀福祉圏域共同事業）
医療的ケア児の支援協議の場	平成32年度末までに設置（甲賀福祉圏域共同事業）

### 計画の構成と期間

みんなでとりくむ つばさプラン		年度（平成）											
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
湖南市障がい者の支援に関する基本計画	湖南市障がい者計画	第1次					第2次						
						改定版							
	湖南市障がい福祉計画	第2期	第3期	第4期	第5期								
	湖南市障がい児福祉計画										第1期		

障がい者計画：障がい福祉分野のまちづくりの指針となる計画です。

障がい福祉計画、障がい児福祉計画：障がい福祉サービス等の必要量とその確保方策等を定めた計画です。

※新しい元号が決定されていないため「平成」の表記とします。

### 第2次湖南市障がい者の支援に関する基本計画 みんなでとりくむつばさプラン 概要版（改定版）

発行年月：平成30年（2018年）3月 発行：湖南市 編集：湖南市健康福祉部社会福祉課  
〒520-3288 滋賀県湖南市中央一丁目1番地  
電話：0748-71-2364 ファックス：0748-72-3788 E-mail：fukushi@city.shiga-konan.lg.jp  
ホームページ http://www.city.konan.shiga.jp/